

事業名

デジタルアーカイブで区民参加のまちづくり

実施団体

be 京都エデュケーションプロジェクト

■事業報告

100年先にも残したい上京の魅力をデジタルアーカイブ（※）化。

（※「デジタルアーカイブ」とは、文化・歴史資産を、高精度かつ保存・再現性に

すぐれたデジタルデータで記録し、整理・保管すること。平成21年総務省が事例をまとめる、

平成23年東日本大震災以降その必要性が注目をあびており行政も取り組みを強化）

歴史や文化、経済や産業振興、地域の発展、市民の生活文化など、上京を語る写真などを通して、魅力ある共有財産づくりに貢献することを目指し開催。

取組内容

■昔の写真募集を募集。

- ・上京区の昔の写真（昭和50年以前の風景、生活文化が伝わるもの）
- ・受け継がれてきた道具や思い出の品、それらの写真など

【店頭受付】 11月11日（土）～11月20日

結果：写真提供者数 6名、加えて区役所からもご協力いただきました。

物品持参者数 4名（記念コイン、アルバム、カメラ、銃剣など）

■持ち寄り撮影会・なつかしの写真展&交流会を開催。

開催日時 2018年3月25日（日）10時～18時（内、持ち寄り撮影会10時～14時）

昭和50年以前の写真を中心に集まった写真の複製展示及び、実物の展示。

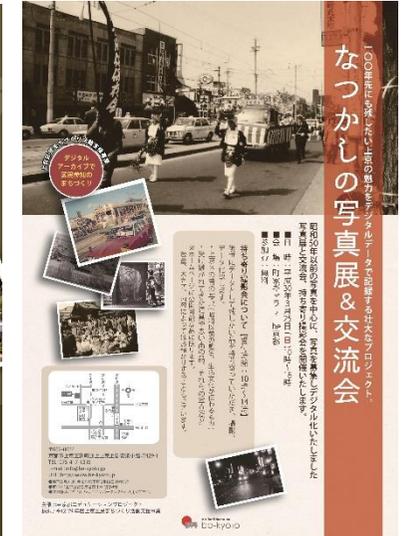
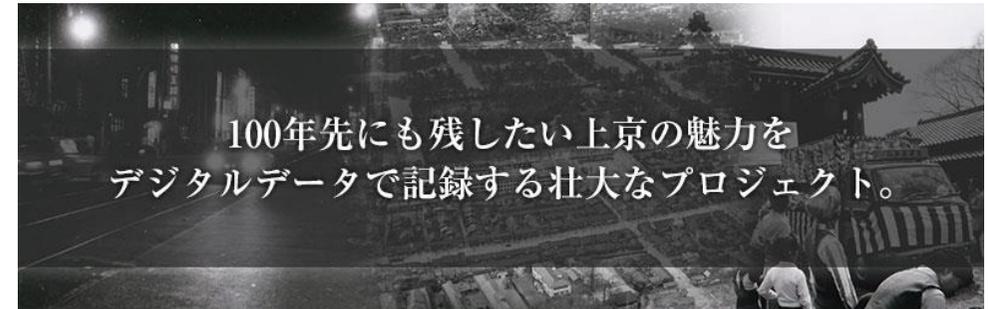
スライド上映も行った。会話が生まれ、さらにはずみ、区民のつながりの場となった。

戦前にカメラを持っている方はそれほど多くなく、人物ポートレート以外の風景や情景を撮影

されている方からの提供は貴重なものとなった。すごく良い取り組みで、写真展も感動したので、ぜひもっとたくさんの方にみてもらえる機会を作ったほうが良いと来場者からもお声をいただいた。

■アーカイブ WEBサイトの制作

提供いただいた写真をデータ化し、ホームページ公開。写真を地図上に落とし込むなど他団体との連携も生まれ、継続して取り組んでいきたい。





【持ち寄り撮影会の一例】

亡きご主人が使っておられたフィルムカメラやおじさんが撮影されていた古いアルバム、屋根裏部屋にずっと眠っていた戦時中の銃剣などが集まり撮影いたしました。

デジタル化した写真をパネルや額に入れて展示しました。



▲会場も京町家なので、建物自体が歴史的なもののため、会話が非常にはずみました。

▶写真をスライド上映。
1枚ごとに「◎◎の様子！」「昔はこんなやったなー」と活気ある声と懐かしむ声で充実したコーナーでした。



私たちは京町家を活動拠点に、地域の皆さまに支えられ文化芸術に関連する様々な企画を立てております。これまで「学び」を中心とした取り組みをしてきましたが、今回はじめて、「アーカイブ化」の取り組みを行いました。なつかしの写真展開催や、WEB公開を通じて、「家にもあるので提供したい」というお声をいただきました。ご要望にお応えできるよう、取り組んでまいります。これまで学びや育成を中心に活動してきたことを活かし、後世へつなぐ育成資料として未来へつないでいきたいと思っております。ありがとうございました。